

大阪市博物館機構は、大阪市が作成したミュージアムビジョンを受け、そのめざす姿として

都市のコアとしてのミュージアム

を掲げ、その達成のために以下の3項目に取り組む

～大阪の知を拓き発信することで、人々が集い賑わう都市を実現し、
大阪を担う市民とあゆむミュージアムへ～

大阪の 知を拓く

ミュージアムは、大阪が有する自然や歴史、文化・芸術、科学の伝統の素晴らしさをさまざまな博物館活動を通じて発掘し、戦略的に発信することで、都市格の向上に寄与する

大阪を 元気に

ミュージアムは、都市大阪に立地する特徴を活かし、内外から幅広い利用者を獲得するとともに、周辺エリアや多様なパートナーとの連携を図ることで、都市の活性化と発展に貢献する

学びと 活動の 拠点へ

ミュージアムは、人々が探究心を抱き、感受性や創造性を育み、多様なニーズに応える学びや活動の拠点となることで、大阪を担う市民力の向上に貢献する

大阪市博物館機構の目的

この地方独立行政法人は、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号。以下「法」という。）に基づき、博物館及び美術館（以下「博物館等」という。）を設置して、歴史、美術、自然、科学及び科学技術に関する資料等を収集し、保管して公衆の観覧に供するとともに、当該資料等に関する調査研究及び普及活動を通じて、市民の文化と教養の向上を図るとともに、学術の発展に寄与することを目的とする。（定款第1条）

生まれ変わり、「理念の実現に」挑戦する OSAKA MUSEUMS

経営理念

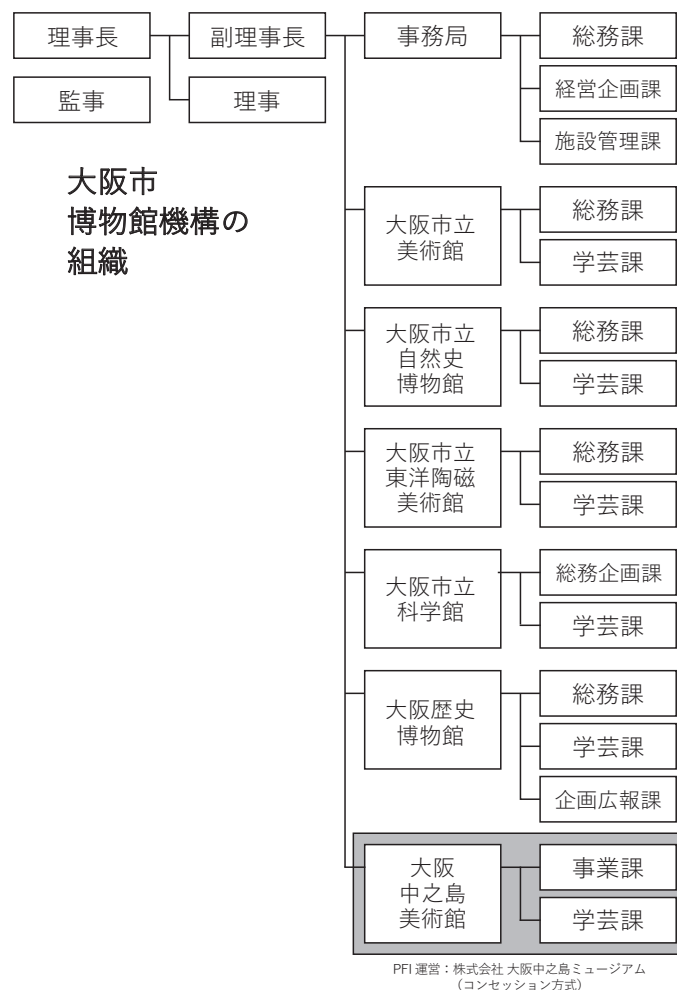
大阪市博物館機構は、6つの特色あるミュージアムから構成され、豊富な資料・人材・経験をたくわえています。
そこで働く私たちは、次の理念の実現をめざします。

- ・各館が個性を発揮しながら、手をたずさえて**社会に感動を与え続けます。**
- ・現在と未来に生きる一人一人の人生を豊かにします。
- ・＜都市大阪のコア＞として、持続可能な社会の実現に寄与するミュージアムとなり、先人たちから受け継いだ＜文化都市・大阪＞の**輝きを、未来へとつないでいきます。**

活動方針

- ・先人たちが蓄積した“大阪のたから”である**コレクションを軸に活動**します。
- ・新鮮な視点に立った、たゆまぬ**調査研究を通じて**これまでになかった価値を生み出し、活用します。
- ・来館者が心を揺らし**感動できる体験ができ**、常に新しい学びや気づきのきっかけが掴めるよう工夫を重ねます。
- ・いつ訪れても心地よく繰り返し訪れたいくなる場をめざして、さまざまな人びとと**対話・協働し、引力をみがき、新たな交流を生み出**します。
- ・時代とともに**移り変わる社会に柔軟に対応しつつ、多様な価値観や表現の自由を尊重し**、直面する諸課題にも果敢に取り組みます。

大阪市 博物館機構の 組織



地方独立行政法人

大阪市博物館機構

—事業概要—

大阪市立美術館

大阪市立自然史博物館

大阪市立東洋陶磁美術館

大阪市立科学館

大阪歴史博物館

大阪中之島美術館

地方独立行政法人

大阪市博物館機構

Administrative Agency for Osaka City Museums

〒540-0008 大阪市中央区大手前 4-1-32 大阪歴史博物館内
電話：06-6940-4330（代表） FAX：06-6940-0551
HP：https://ocm.osaka



2022 年 3 月

大阪市立美術館



1936 年に開館した歴史と伝統のある美術館です。関西経済人によるコレクションなどの寄贈・購入によって集まった日本、中国の絵画・彫刻・工芸など 8,500 件をこえる館蔵品、寺社などから寄託された作品を随時展示しています。

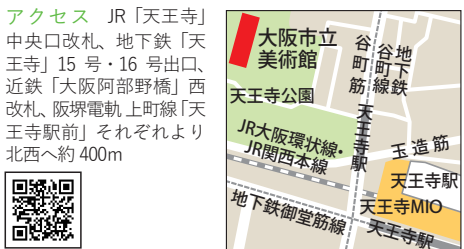


中国彫刻展示風景



重要文化財 潮干狩図 葛飾北斎筆

所在地 〒543-0063
大阪市天王寺区茶臼山町 1-82
(天王寺公園内)
電話 06-6771-4874
F A X 06-6771-4856
開館時間 9：30～17：00
(入館は閉館の 30 分前まで)
休館日 月曜日(祝日・休日の場合はその翌平日)、
展示替期間、年末年始
観覧料 コレクション展：一般 300 円、高校生・
大学生 200 円 ※特別展は別料金
H P <https://www.osaka-art-museum.jp/>



大阪市立自然史博物館



「身近な自然」「地球と生命の歴史」「生命の進化」「生き物のくらし」をテーマとする自然史系の博物館です。身近な生物の誕生や進化を体感しながら、自然の成り立ちとこれからの自然との関わり方を学ぶことができます。自然観察会など館内外のイベントメニューも充実しています。



第 2 展示室「地球と生命の歴史」



はくぶつかんこどもまつり

所在地 〒546-0034
大阪市東住吉区長居公園 1-23
電話 06-6697-6221
F A X 06-6697-6225
開館時間 9：30～17：00 (11～2 月は 16：30
まで。入館は閉館の 30 分前まで)
休館日 月曜日(祝日・休日の場合はその翌平日)、
年末年始
観覧料 常設展：大人 300 円、高校生・大学生
200 円 ※特別展は別料金
H P <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>



大阪市立東洋陶磁美術館



世界的に有名な東洋陶磁のコレクションである「安宅コレクション」961 件が住友グループから寄贈されたことによって 1982 年に設立されました。国宝 2 件と重要文化財 13 件を含む 5691 件の館蔵品は質、量ともに世界第一級を誇っています。



国宝 油滴天目 茶碗

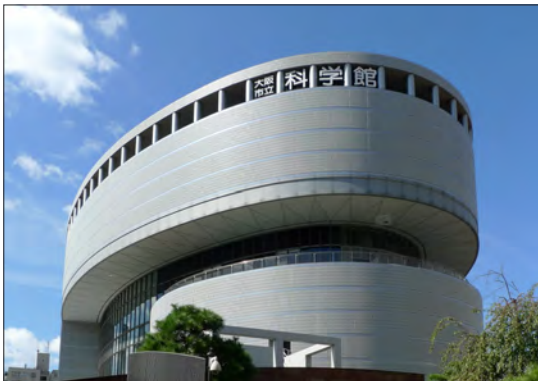


重要文化財 青花 蓮池魚藻文 壺
いずれも住友グループ寄贈 / 安宅コレクション

所在地 〒530-0005
大阪市北区中之島 1-1-26 (中央公会堂東側)
電話 06-6223-0055
F A X 06-6223-0057
開館時間 9：30～17：00
(入館は閉館の 30 分前まで)
休館日 月曜日(祝日・休日の場合はその翌平日)、
展示替期間、年末年始
観覧料 展覧会ごとに定める
H P <https://www.moco.or.jp/>



大阪市立科学館



東洋初のプラネタリウムを持つ市立電気科学館として、1937 年に開館。中之島の現在地に移って 30 年余り、プラネタリウム、サイエンスショー、宇宙・化学・物理・エネルギーなどに関する展示と、多彩な楽しみにあふれています。



サイエンスショー



宇宙を体験できるプラネタリウム

所在地 〒530-0005
大阪市北区中之島 4-2-1
電話 06-6444-5656 **F A X** 06-6444-5657
開館時間 9：30～17：00
(展示場の発券・入場は 16：30 まで)
※プラネタリウム最終投影は 16：00 から
休館日 月曜日(祝日・休日の場合はその翌平日)、
年末年始、メンテナンス休館あり
観覧料 展示場：大人 400 円、高校生・大学生 300
円プラネタリウム：大人 600 円、高校生・
大学生 450 円、3 歳以上中学生以下 300 円
H P <https://www.sci-museum.jp/>



大阪歴史博物館



古代の宮殿である難波宮の遺跡上に建つ高層の博物館。常設展示は「都市おおさか」の歴史と文化を、古代から近現代にいたるまで模型や原寸復元、映像、実物資料などで紹介しています。10 階の展示場からは難波宮跡や大阪城が一望できます。

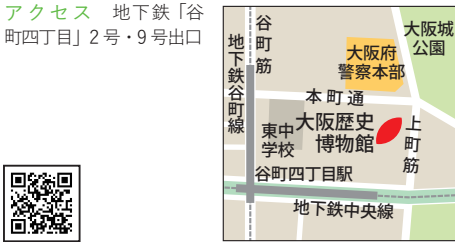


常設展示 10 階古代フロア



常設展示 9 階中世・近世フロア

所在地 〒540-0008
大阪市中央区大手前 4-1-32
電話 06-6946-5728
F A X 06-6946-2662
開館時間 9：30～17：00
※特別展開催中の金曜日は 20：00 まで
(入館は閉館の 30 分前まで)
休館日 火曜日(祝日・休日の場合はその翌平日)、
年末年始
観覧料 常設展示：大人 600 円、高校生・大学生
400 円 ※特別展は別料金
H P <http://www.mus-his.city.osaka.jp/>



大阪中之島美術館



2022 年 2 月大阪の中心、中之島に開館。19 世紀後半から今日に至る日本と海外の代表的な美術とデザインの作品を中心に、地元大阪ゆかりの作家もふくめ約 6,000 点収蔵。今後もさらなる充実をめざしています。



小出橋重《街景》1925 年



アメデオ・モディリアーニ
《髪をほどいた横たわる裸婦》1917 年

所在地 〒530-0005
大阪市北区中之島 4-3-1
電話 06-6479-0550
F A X 06-6479-0556
開館時間 10：00～17：00
(入館は閉館の 30 分前まで)
休館日 月曜日(祝日・休日の場合はその翌平日)、
年末年始
観覧料 展覧会により異なります。詳しくは各
展覧会ページをご確認ください。
H P <https://nakka-art.jp>

